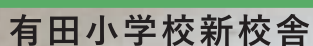
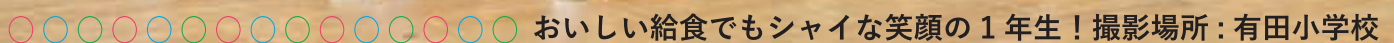


2018 6 月議会



平成 30 年 7 月 31 日発行

新有田町議会の組織が決定

議長に松尾文則氏、副議長に原田一宏氏を選出

任期満了に伴う有田町議会議員選挙が、4月8日に有田町長選挙と同時に行われました。

今回の町議選には、16議席に18人が立候補。

その結果、現職12人、新人4人の議員による新しい議会が誕生しました。

4月20日に議会の組織を決める臨時議会が開かれ、議長に松尾文則氏、副議長に原田一宏氏を選出。

また3つの常任委員会委員と議会運営委員会委員、組合議会議員の選出を行いました。

その後、5月22日の臨時議会で議会選出の監査委員と議会広報発行特別委員会委員を選任しました。

「新議会スタート」 松尾 文則

4月の選挙において当選させていただき、20日の臨時議会で議長に再任されました。

佐賀県町村議会議長会会長も4年目となり、全国町村議会議長会理事も2年目を迎えました。

全国927町村議会代表として議員のなり手不足の解消・地方予算獲得に向け努力して

参りたいと思います。4年間空席であった副町長も佐賀県から有田出身の福田政美氏が

選任されました。県との協力関係構築に期待しております。

6月議会では15名が一般質問に立つという「やる気満々」の新議会がスタートしました。

町の発展・子どもの教育支援等の質問に町長も真摯に答弁をいただきました。

地元ケーブルテレビの視聴者の皆様からも今の議員さんは大変勉強されておられ良かったと

言う言葉もいただき大変嬉しく思いました。

本来の議員職責である住民福祉の向上・弱者対策はもちろんとし、

今年11月の唐船城築城800年祭の成功を目標に、

また、基幹産業である陶磁器産業の再生・農業振興等のために議員が一つになって取り組める

ステージづくりが重要であると認識していますので、しっかり尽力いたします。

7月の総区長会との会議を皮切りに各種団体との協議を重ねます。

また、議会が主催する町民との意見交換会開催により、意見を聴収し、町政に反映させるなど、

できることから議会改革を進めて参ります。



議長
松尾文則
(57歳)



副議長
原田一宏
(60歳)

委員会構成

総務常任委員会

委員長 古賀 四郎
副委員長 松永 俊和
委員 中島 達郎
委員 樋渡 徹
委員 池田 榮次
委員 松尾 文則

文教厚生常任委員会

委員長 今泉 藤一郎
副委員長 蒲原 多三男
委員 諸隈 洋介
委員 福島 日人士
委員 藤 誠一郎

産業建設常任委員会

委員長 梶原 貞則
副委員長 久保田 均
委員 岳川 淳彦
委員 立部 正則
委員 原田 一宏

議会運営委員会

委員長 蒲原 多三男
副委員長 池田 榮次
委員 久保田 均
委員 古賀 四郎
委員 梶原 貞則
委員 今泉 藤一郎

議会広報発行特別委員会

委員長 福島 日人士
副委員長 古賀 四郎
委員 諸隈 洋介
委員 岳川 淳彦
委員 樋渡 徹
委員 立部 正則

議会選出監査委員

立部 正則

一部事務組合

伊万里・有田地区 医療福祉組合議会議員

松尾 文則、原田 一宏
松永 俊和、池田 榮次
今泉 藤一郎、藤 誠一郎

伊万里・有田地区 衛生組合議会議員

松尾 文則、原田 一宏
樋渡 徹、立部 正則
蒲原 多三男、古賀 四郎
梶原 貞則、今泉 藤一郎

伊万里・有田 消防組合議会議員

松尾 文則、原田 一宏
中島 達郎、今泉 藤一郎
梶原 貞則



平成30年 第1回定例会(6月議会)

平成30年6月議会は、6月5日から6月15日まで11日間の会期で、開催されました。本年度一般会計補正予算など19議案が上程されました。

**一般会計予算
1億1,512万円を
追加補正し
103億3,812万円に**



唐船城址

主な事業として、新規事業は、保育所等整備交付金事業2,464万円、高齢者と幼児のコミュニティハウス建設事業476万円。ふるさと納税推進事業3億1,491万円、非常備消防事業1,483万円などを補正しました。

(単位:万円)

主 な 事 業	内 容	金 額
結 婚 活 動 支 援 事 業	婚活番組制作委託料等	3 4 2
唐 船 城 築 城 8 0 0 年 祭 実 行 委 員 会 事 業	唐船城築城800年祭実行委員会補助金	9 0 0
ふるさと納税推進事業	寄付者謝礼、返礼品開発・配送管理業務委託料等	3 1,4 9 1
保育所等整備交付金事業	保育所等整備交付金事業補助金	2,4 6 4
高 齢 者 と 幼 児 の コミュニティハウス建設事業	建築基本設計委託料、アスベスト調査委託料	4 7 6
非 常 備 消 防 事 業	小型動力ポンプ購入費等	1,4 8 3
歴史と文化の森公園管理事業	焔の博記念堂大規模改修調査委託料等	7 1 2

特別会計・企業会計補正

- 特別会計 国民健康保険特別会計 △414万円(退職被保険者等療養給付事業等)
介護保険特別会計 △1,815万円(介護給付費準備基金積立金等)
- 企業会計 水道事業会計 1,500万円 資本的支出(建設改良費)

産業建設常任委員会

商工・環境、農林・土木建設、上下水道、農業集落排水・浄化槽、宅地分譲などに関することについて審議します。

(委員会構成議員 5人)

委員長 梶原 貞則

副委員長 久保田 均

▼平成29年度有田町公共下水道事業会計決算認定

立部委員 決算書の負債の部に「企業債の償還に係る他会計の負担」とあるが、一般会計から負担するのは何%くらいか。

上下水道課長 公共下水道事業で国の補助は、管路は50%、施設は55%である。それを差し引いた全体の5%が地元負担金、残りが起債となる。企業会計なので料金収入もある。営業収支、資本的収支もあり、営業収支では維持管理等もある。接続率増が大事である。

原田委員 前年度に比べ水洗化が92件増加しているが、今後の周知方法は、

上下水道課長 区域内の合併処理世帯からの切り替えが効率が良いと考え、対象世帯250戸に周知用のチラシを配布した。

(採決の結果) 賛成全員

▼平成29年度有田町浄化槽整備推進事業会計決算認定

立部委員 昨年の設置の目標数と実績は、

上下水道課長 平成29年度は61基目標で、実際は44基である。

梶原委員長 個人管理のメリット、デメリットはどうか。

上下水道課長 個人管理はデメリットが多く、寄付した方がよい。県内各市町も接続率を上げる問題を抱えている。県の浄化槽協議会で協力して、啓蒙を進めていきたい。

(採決の結果) 賛成全員

▼平成29年度有田町水道事業会計決算認定

立部委員 有収率が前年より0.8%下がった理由は、

上下水道課長 漏水発生が増えたため。毎朝、夜間の水量の変化は確認している。漏水の場合、できるだけ短時間で修復対応している。

(採決の結果) 賛成全員

▼平成30年度有田町一般会計補正予算(第1号)

立部委員 地球温暖化対策実行計画策定業務委託料とは何か。

住民環境課長 地球温暖化の法律に基づく地方公共団体の行動計画を整備するもの。ほぼ満額補助を受けて行動計画を作成する。10年前からの更新である。

立部委員 ふるさとの森林づくり事業とは何か。

農林課長 県の森林環境税を100%活用して実施する事業。二ノ瀬地区の約8haの予定。

原田委員 有田のお菓子のお土産が少ない。行政からの支援によるお菓子の開発ができないか。

商工観光課長 昨年、肥前窯業園のイベントで期間限定の「茶わん最中」を復刻させた。明治有田偉人博覧会でも期間限定でお菓子を復活する取り組みがある。今後、観光協会や、農林課とも協議し、名物開発に取り組んでいきたい。

松尾議長 道の駅では、農業生産者にとっては売

場所があれば生産意欲がわき張り合いが出る。もつと踏み込んで議論をお願いしたい。

農林課長 JAとも今後どのようにやるのか、もう一步踏み込んで話をしたい。

松尾議長 当初予算で土木費が、大幅に削られているが、根本的な理由は、

建設課長 社会資本整備交付金事業で重点的長寿命化には100%の補助がついている。しかし非重点的事業は、予算要求額に対して3%程の交付率という今までにない減額

このほか次の議案は賛成全員で可決すべきものとすることに決しました。

▼平成29年度有田町農業集落排水事業会計決算認定

建設課長 県とも協議をしたが、一概に言えず、簡単にはいかない。

(採決の結果) 賛成全員

松尾議長 南原・原宿線については、建設後も維持管理費がかかるので、県道にしてはどうか。

建設課長 県とも協議をしたが、一概に言えず、簡単にはいかない。

(採決の結果) 賛成全員

文教厚生常任委員会

(委員会構成議員 5人)

委員長 今泉藤一郎

副委員長 蒲原多三男

▼有田町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

藤委員 0才〜2才児の預かり状況は、

住民環境課長 現在、公立

民生、保健、医療、福祉、介護、教育に関することについて審議します。

・私立・認定こども園等に全体で約263人が在園している。

(採決の結果) 賛成全員

▼有田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

諸限委員 参入希望の事業所等はあるのか。保育士の資格がなくても可能か。

住民環境課長 現時点で参入事業所はない。保育士の資格がなくても、県の研修を受けた方も可能。

(採決の結果) 賛成全員

▼平成30年度有田町一般会計補正予算(第1号)

藤委員 子どもの貧困の定義は。

健康福祉課長 子ども子育て支援事業計画を策定する中で定義していく。

福島委員 健康づくり介護予防ポイント事業の説明を。

健康福祉課長 積極的な参加を呼びかけ、ポイント制を実施することで国保のインセンティブ(奨励金)の取得も目指している。

藤委員 高齢者と幼児のコミュニティハウス建設事業の説明を。

住民環境課長 全体の三分の一を子育て支援エリアに予定をしている。

健康福祉課長 現在の施設は狭い状態で、新たな施設では特に元気な高齢者を対象にした事業を行うことで、対象者を広げサポーターの育成等もしていきたい。

諸隈委員 生涯学習センター前駐車場整備はいつまでかかるのか。

生涯学習課長 6月22日まで、完了後に街灯設置や植栽等を行う。

(採決の結果) 賛成全員

▼平成30年度有田町介護保険特別会計補正予算(第1号)

藤委員 現在の有田町の要介護認定率の状況は。

健康福祉課長 認定者数は平成24年度が、要支援・要介護を含めて11115人で、認定率は19%。平成29年度の見込みが1105人で、認定率は16.9%であり減少している。理由は介護予防に力を入れている。

(採決の結果) 賛成全員

このほか次の議案は賛成全員で可決すべきものとすることに決しました。

▼有田町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

▼有田町西図書館蔵書整備基金条例を廃止する条例

▼平成30年度有田町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

総務常任委員会

(委員会構成議員 6人)

委員長 古賀 四郎
副委員長 松永 俊和

▼有田町税条例の一部を改正する条例

松永委員 生産性革命集中投資期間年数と措置法の説明を。

税務課長 平成30年度から32年度まで、中小企業が設備投資を進めて生産性を上げるための特別措置である。

(採決の結果) 賛成全員

▼消防団積載車購入事業(小型動力ポンプ付) 物品購入契約の締結

松尾委員 2台を購入予定だが、今後の予定は。

総務課長 来年度は2消防団の更新を予定。20年経過の消防積載車を対象。

(採決の結果) 賛成全員

▼平成30年度有田町一般会計補正予算(第1号)

池田委員 結婚活動支援事業について、説明を。

まちづくり課長 目的は結婚活動支援であり、福岡

総務に関するところ、他の委員会に属しないこと、全般について審議します。

の放送局に婚活番組制作を委託し、町内各団体若手が番組制作の中で、東・西地区の融和を図り、地域づくりの起爆剤にする。

池田委員 番組制作会社からの企画書の提案は。

まちづくり課長 企画書はある。男女40人で番組を作りながら、その過程の中で地元企業や観光地のPR等をしながら番組を放送する。

池田委員 担当者は番組を見てから判断したのか。

まちづくり課長 打ち合わせのみ。

池田委員 慎重に進めて。

松永委員 地域防災組織育成助成事業と青少年健全育成助成事業補助金の内容は。

まちづくり課長 地域防災補助金は自主防災組織の設備等の整備を行うもので町が200万円で交付を受け、町内7地区より30万円未満の事業申請がなされている。青少年健全育成助成事業は上本区の子ども達を対象に歴史学習を計画、臨時的案内

板の設置や講話等を実施予定。

中島委員 自主防災活動事業で、防災士等による防災士連絡協議会を作り横の連携を。

総務課長 自主防災組織の連絡協議会を8月に立ち上げる予定。防災士研修は県にて年1回フオロアップ研修を実施。

松尾委員 地域おこし協力隊は今後も続けるのか。

まちづくり課長 平成27年9月より協力隊を採用、業務の内容により必要があれば続ける。3年目を迎えた協力隊員は定住され起業予定。

松永委員 地域防災計画修正業務で新たなハザードマップの作成予定は。

総務課長 土砂法の最終指定が今年度末になるので平成31年度5月の予定。

(採決の結果) 賛成全員

このほか次の議案は賛成全員で可決すべきものとすることに決しました。

▼佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合規約の変更

▼字の区域の変更

平成30年 第1回定例議会における議案の審議結果

議案順位	提 出 議 案	審議の結果
1	平成29年度有田町土地開発公社会計決算の報告について	賛成全員
2	平成29年度有田町公共下水道事業会計繰越計算書の報告について	賛成全員
3	平成29年度有田町水道事業会計繰越計算書の報告について	賛成全員
4	平成29年度有田町公共下水道事業会計決算認定について	賛成全員
5	平成29年度有田町農業集落排水事業会計決算認定について	賛成全員
6	平成29年度有田町浄化槽整備推進事業会計決算認定について	賛成全員
7	平成29年度有田町水道事業会計決算認定について	賛成全員
8	有田町税条例の一部を改正する条例について	賛成全員
9	有田町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	賛成全員
10	有田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	賛成全員
11	有田町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	賛成全員
12	有田町西図書館蔵書整備基金条例を廃止する条例について	賛成全員
13	佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合規約の変更について	賛成全員
14	消防団積載車購入事業（小型動力ポンプ付） 物品購入契約の締結について	賛成全員
15	字の区域の変更について ※原明地区の一部を代々木地区へ変更	賛成全員
16	平成30年度有田町一般会計補正予算（第1号）について	賛成全員
17	平成30年度有田町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	賛成全員
18	平成30年度有田町介護保険特別会計補正予算（第1号）について	賛成全員
19	平成30年度有田町水道事業会計補正予算（第1号）について	賛成全員

※各議案は、関係委員会で予備審査をして本会議に付されます。予備審査の詳細は別掲する委員会報告をご覧ください。

幸せな町の運営とは

答 町の総合商社として職員の能力アップを図る



中島 達郎 議員

一人一人の声を活かし
オール有田でまちづくり

▽職員的能力アップ

議員 町民の諸々の手続きや要望に対し迅速な対応策は。

総務課長 能力アップを図るため、多くの職員が佐賀県市町村振興協会主催の研修を受講している。また役場内では、住民満足度向上、接遇、説明力向上などの研修を行い、職員全体のスキルアップに努めている。

町長 町民の生活に寄り添う、町の総合商社として考えている。町民と向き合う職員が、新人ベテランを問わず、責任を持って仕事に専念することが必要。最終的には職員の責任は私の責任。私が責任を取る気構えで町民に対応する決意である。

▽権限委譲の拡大

議員 町民対応の仕事の迅速化、責任分担としての権限委譲もあるのか。

総務課長 町の権限事務で、町長から権限の一部を専決できる事項がある。仕事の内容によつては、権限委譲の拡大もあり得るのか、今後協議を行い、町長の指示のもとに決定していきたい。また、町

長、副町長、各課長の集団体制をより強固なものにし、迅速な事務処理を心がけ、町民サービスの向上に努めていきたい。

▽積極的な町のセールの

議員 一般の総合商社のように、町職員が出張上京後、直帰せず地方都市の観光課等に広報宣伝で立ち寄ることは可能か。
総務課長 出張の帰りに、立ち寄ることは可能だが、充分な宣伝効果が期待できるか見極めたうえで検討したい。また、職員の担当業務で、事業内容の先進地事例などがあれば、研修のために立ち寄らせることも検討したい。

公共施設のトイレの

男女比率の改善

▽女子トイレの行列渋滞

議員 陶器市では、公共施設の常設トイレ以外に、仮設トイレ施設を18カ所設置しているが、ほとんどの女性客は、既存の常設水洗トイレを利用して、そこで毎年、女子トイレへの行列・渋滞が起きている。

萩市では公共施設のトイレの女子の行列・渋滞の緩和策として、男子小便器数と女子小便器数の比率を概ね1対2とする整



▲東出張所前の公共トイレ

備方針を設けているが。

商工観光課長 陶器市では毎年、トイレに関する苦情が多く寄せられている。現在、町としては補助金制度を利用して、既存の観光トイレの洋式化に努めている。

クラウドファンディングの活用

▽総務省の支援策

議員 クラウドファンディングとクラウドファンディング型のふるさと納税への取り組みは。

総務課長 総務省の支援により本年度より実施されている「ふるさと起業家支援プロジェクト」と「ふるさと移住交流促進プロジェクト」がある。

総務省の支援策によるものは、現在運用はされていない。今後、住民からクラウドファンディング型のふるさと納税を活用して、起業したい旨の申し出があれば、しかるべき審査を町で行い、サイ

ト上に取り上げ、寄附金が目標準に届かない場合は、町が上乘せ補助をし、その分を総務省が支援する。また支援策は、本年度に始まったばかりであり、地域の課題の取り組みに役立つのか、他の市町村の状況も見ながら、今後検討して判断していきたい。

▽財源の活用

議員 将来の有田の農業や農業の担い手となり貢献する人材の育成を目的とした奨学金の設立は。

学校教育課長 人材育成を目的とした支給型の奨学金制度設立については、それ以外の方策があるのかどうかから議論が必要。後継者や人材不足が、直面する課題となっている状況の中で、どの能力を持った人材が不足しているのか、具体的に課題を明確にした上で、学校教育の奨学金制度の範疇にとらわれず熟議することが大切。

町長の国内トップセールス 副町長は職務代理できない

答 ご指摘の通りだと理解している



池田 栄次 議員

選挙結果と公約

▽町長選の結果と町政

議員 選挙では402票の僅差で前町長を制した。この事実を念頭に置いた町政を求めます。

町長 厳しい結果を受け、改めて重責を認識している。ご指摘を踏まえた町政を心掛けたい。

▽町の閉塞感とは

議員 職員に「町の閉塞感を打破する」と訓示している。閉塞感とは。

町長 若者の声が通りにくい雰囲気を感じてきた。新しい風が吹く町の実現を念頭においた。

▽選挙公報と公約

議員 公約した「豊かな農業・輝く産業」の実現に向けた施策を問う。

町長 農事組合法人の拡充と法人運営の指導・支援によって、中山間地域農業の衰退を防ぎたい。



▲「豊かな農業施策と中山間地域農業の実現」

▽輝く産業と400年事業

議員 投票翌日、「400年事業は前町長の采配が良くなかった」「有田をPRする機会を逃した」と、業界の批判票が町長に流れたかの新聞記事が出た。400年事業は業界の節目の事業。行政はそれを支援した。なぜ批判なのか。町長の所感を。

町長 新聞を評価できる立場にないが、業界界にそのような雰囲気があったからだと思う。

▽15億円から3億円に

議員 前町長は「事業を

一過性のものにしてはいけない」と、企画段階の予算15億円を3億円の基金に見直し、業界界を中心とする実行委員会で1億2千万円程を使い、残り401年以降の事業に備えている。

町長 議員当時、議会で見直しが賛成した。責任は議会にある。私は職員による手作り事業を評価する。町長の所感は。

町長 少なくとも使ったから「良かった」ではなく、見直した企画にも良い面があったのではないかと。県との連携も深める必要があった。

取り組みたい事業

▽小中学校の冷暖房

議員 すでに各学校に扇風機を設置している。町長は冷暖房を公約した。冷暖房は①窓を閉め切り感染症が広がりやすい。②教室内外の急激な温度差で学童が体調を崩しや

すいなどの指摘もある。町の財政負担も大きい。

町長 財政的な面から、衛生管理と職員の体調管理を優先して、先ず調理室に設置したい。

▽給食費の軽減・無償化

議員 給食費の無償化もつたっている。町の給食は各学校で炊きする自校方式。多額の設備費と人件費がかかる。

教育長 無償化で年間8千万円程が町の負担になる。補助策を協議したい。

議員 補助はいずれ無償化の要望になる。将来負担を考え慎重に対応を。

町長 どのような方法があるのか、十分に検討を進めたい。

南部工業団地の開発

議員 今、30数億もの巨費を投じて企業が進出は望めない見方もある。

町長 地方自治法に沿ったの副町長もだが、精神的支柱として考えている。

水が必要な企業には更

町長のトップセールス

▽副町長の職務範囲

議員 「東京などで積極的にトップセールスする」と、副町長を置く理由を新聞に語っている。国内出張は副町長の職務代理の範疇ではない。

副町長 ご指摘の通りだと理解している。

議員 自治法や町の職務代理規程にも、町長の国内出張を副町長の職務代理に定めていない。

町長 地方自治法に沿ったの副町長もだが、精神的支柱として考えている。

選挙公約は

答 オール有田で行政運営に取り組む



立部 正則 議員

農業振興について

議員 町長が考えられている強い農業とは、どのようなものか。

町長 集落営農、多面的取組など、地域で取り組んでいる農業である。

議員 儲かる農業とは、どのような作物・または形態を考えているか。

町長 ブランド化された畜産品や園芸品目の高収益作物。これらを中心に補助事業等を行い儲かる農業を応援したい。



▲金柑ハウス

議員 特産品の作物検討会があったが今後どのようにするのか。

農林課長 委員さんの任期が切れて休止中の状態

である。流通などの問題が指摘されていたので再確認して検討する。

議員 後継者不足であるが、どのような育成策を行うか。

農林課長 農家子弟のインターンシップを含んだ新規就農者を育成する。

議員 こころ3年の実績と今年の予定は。

農林課長 補助金を出しているところが3件、来年1件予定している。

議員 6次産業化はどのように検討するのか。6次産業として立ち上げるのか。OEM（外注）商品開発を行うのか。

農林課長 「四季ありた」に加工施設を作り加工販売する構想があり、検討されている。加工販売まで到達できる仕組みを構築したい。

議員 6次化は必要と思うので、研究会などの立ち上げ検討を。

町長 近隣の成功事例を確認しながら特産品を含め6次化を進めたい。

雇用促進対策

議員 「工業団地の整備と企業誘致の早期実現を図る」と公約されている。南部工業団地はどのような開発を行うか。

町長 整備を行い企業誘致を実施したい。

議員 一括造成か、それとも分割造成か。

まちづくり課長 コスト面などを考慮しながら県と造成方法を協議する。

議員 南部工業団地以外に工業用地はないか。

まちづくり課長 中部小学校建設予定跡地があるが道路の整備が必要。その他には工場用地としての候補地はない。

議員 首都圏事務所・関西事務所を訪問して、進出企業などの感触は。

町長 今の時点ではない。セラムミック系の事業が進出してくればベストかなと思う。

自然環境の整備

議員 内山地区の街並みや、自然豊かな岳の棚田、神秘的な溪谷美の竜門峡、800年の歴史を持つ唐船城址などの名所巡りの仕組みを作り交流人口を増やすとあるが、岳の棚田・竜門峡・唐船城址の通常の管理はどのようになっているか。

農林課長 棚田公園、桑々田溜池周辺が町の管理。竜門峡については、黒髪山県立自然公園であり町内はほぼ国有林である。キャンプ場については町の管理。唐船城址の北側については神社敷地。南側は町の管理。

議員 棚田の石積み崩落などが進んでいるが対策は。

農林課長 農災での対応及び中山間事業の活用をお願いしている。

議員 竜門峡のキャンプ場の管理は。

農林課長 現状維持と考

えている。

議員 唐船城築城800年祭に向けての管理は。

文化財課長 案内板の設置などを考えている。

議員 唐船城址の草刈りなどの管理は。

文化財課長 神社敷地については神社管理、町有地は町の管理。



▲センチピートグラス

議員 自然環境の管理という事でセンチピートの植栽を提案したい。昨年度センチピートの種子吹き付け装置が北ノ川内地区に導入されている。これらの有効利用をお願いしたいが、種子費用が非常に高価である。種子費用などの補助は。

建設課長 施工費を含み費用の補助を検討したい。

人口減少の対策について

答 小規模企業や在来企業への対応も必要



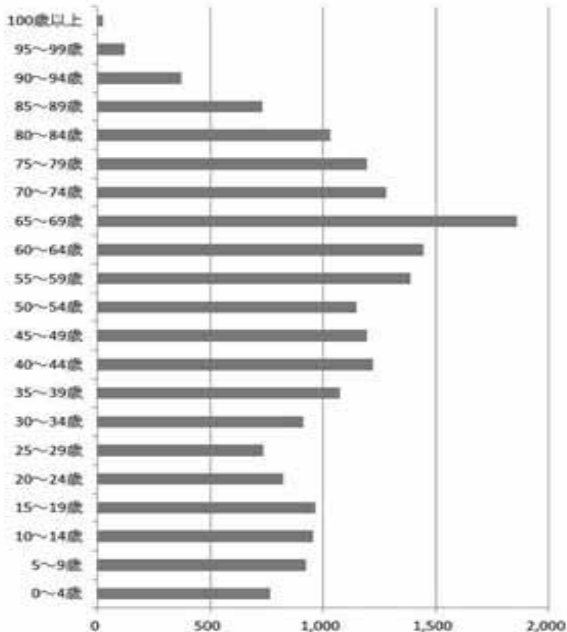
樋渡 徹 議員

有田町の人口問題

▽人口の減少傾向

議員 平成30年4月までの公表されているデータによると、この28カ月で出生数328人に対し、死亡者数が、627人である。単純計算で、年間130人の減少で、80年後は、町内人口は、今の半数、1万人と予測される。200年後は、1千人である。添付のグラフからもわかるように、若者の町外への流出が、高

有田町 年齢別人口統計表【日本人・外国人】（平成30年4月30日現在）



校卒業後の、大学進学や就職により、20才から30才間が減少している。前記の人口減少予測は、これを上回るかもしれない。人口減少に対する問題は、すぐに結果が出ることはない。早急な対策が必要である。老々世帯や、老人一人世帯が増加し、町内の空き家件数も増加傾向にあるが、現時点での空き家戸数は、まちづくり課長 昨年の空き家対策事業で空き家と思われる建物、651軒である。

▽企業誘致問題

議員 最近の町内への企業誘致実績、最終は、まちづくり課長 平成20年7月。

議員 過去10年間は、新規の実績がないわけだが、提案として、工業団地への誘致という大きな規模の会社でなくても、従業員数10人程度でも受け入れれば、効果は期待できるのではない。また、町内でも、全国的に知られた企業が舞原団地にあるわけだが、イターン、Jターンの社員もあられる。町は、在来企業も応援しなくてはいけないと思う。

町長 町内14社で作られている会社があって、800人中、40%の320人の町内出身者を雇用している。国内最先端の技術を持った企業が町内にあってすごいと思うが、それを呼び水に、高い技術を持った方が、どんどん有田に来ていただくのは、ひとつの手である。地元

の有田工業出身の雇用も図っていると聞いている

ので、町内出身の子どもたちが、町から出ないという対策にはなると思う。一丁系、事務系について、大きな企業にこだわらず、問題の空き家などを利用して誘致することも、積極的に進めていきたい。

▽住宅地問題

議員 キャノンが波佐見に進出して来たことによる住宅地の供給は。

町長 大分ナンバーの車が停まっている住宅は、キャノンの社員さんが購入されたものだと思うが、町内の工業団地を誘致できた時は、住宅も必要なので、空き家や、工業団地

からの転用も検討する。

▽高齢化社会の対応

議員 今後の高齢者増加の問題として、介護等を支援する人材不足対応として、要支援1と2は、老人クラブが対応するとの認識はあっているか。
健康福祉課長 支援をする側は生きがいや介護予防にもなるため、協力いただければと考えている。

▽災害時の危険箇所の見直し

議員 大分で山崩れがあったが、町内ではどうか。大山郵便局付近を例に提起する。
総務課長 5月の防災パトロールで確認している。



▲大山郵便局舎裏(大雨時)

選挙公約「6つの幸せ」 実現するためには

答 様々な意見を聞いて具現化できるよう取り組みたい



原田 一宏 議員

選挙公約

(取り組みたいこと)

▽子育てする幸せ

議員 現在行っている子育て支援策は、健康福祉課長 不妊治療費の助成・妊婦健診費の助成・乳児家庭相談訪問事業・赤ちゃんのミルク支援・チャイルドシート購入助成・子どもの医療費助成・児童扶養手当がある。

住民環境課長 児童手当

子育て支援の一例

区分	手当金額を受給できる方	手当の一部を受給できる方
児童1人のとき	42,500円	10,030円～42,490円
児童2人のとき	10,040円加算	5,020円～10,030円加算
児童3人目以降	6,020円加算	3,010円～6,010円加算

▲児童扶養手当 (平成30年4月改定)

※児童扶養手当……18才未満の児童がいるひとり親家庭に支給される手当。

町で受付進達等の事務を行い、給付は県で行う。
所得制限及び支給制限がある。

児童の年齢	児童手当の額 (1人当たり月額)
3歳未満	一律 15,000円
3歳以上～小学校修了前	10,000円 (第3子以降は15,000円)
中学生	一律 10,000円
所得制限限度額以上の場合	一律 5,000円

▲児童手当事業

※児童手当……中学校卒業までの児童を養育している保護者等も支給される手当。

事業(中学生までを対象)・保育料軽減事業がある。

議員 子育てサポートセンターの設置は。

住民環境課長 現在、子育て支援事業は、町内既存施設の空き時間に日時を限定しての提供しかできていない。利用者から常時開設の希望があり、今回おあぎ保育園跡地の活用により、新たな施設「高齢者と幼児のコミュニケーションハウス(仮称)」を整備し、子育て世代が

いつでも利用できる環境を整えるものである。

議員 学校給食の無料化はいつごろからか。

教育長 県内7市町で補助しているが、町で全額補助となると、8千万円ほどかかる。財源の問題もあり、開始時期含めて今後検討が必要である。
議員 教育環境の充実とは。

教育長 平成30年度「有田町の教育(教育施策重点目標)」を基に、未来を担う子どもたちの教育を充実させることと認識している。また、施設整備の充実とともに、人的環境の充実も推進したい。

▽「幸せな老後」

議員 公民館や生涯学習講座などでの事業参加の促進や支援が「幸せな老後」に繋がると思うが。

健康福祉課長 主に介護予防の観点で各種事業を行っている。今後参加者を増やす意味でも周知を図り、良い事業があれば

積極的に取り入れて「幸せな老後」の支援策にしたい。また、高齢者福祉において、地域福祉・生活支援拠点となる新たな集いの場も必要になってくるので、「高齢者と幼児のコミュニケーションハウス(仮称)」は、高齢者と幼児のための複合型福祉施設である。

議員 県の首都圏及び関西事務所訪問の内容は。

▽「働く幸せ」

町長 就任挨拶と企業誘致の具体的考えを伝え、早期に情報収集ができる関係を築けたと思う。

議員 地場産業の後継者育成と振興の考えは。

町長 産業振興や担い手不足について、関係者・関係団体と協議検討し、具体的に動くことが必要と考える。

▽「幸せな観光地」

議員 近隣市町との観光連携の考えは。

町長 単体より肥前窯業

圏での展開が必要と思っている。6月議会終了後、地域連携として近隣市町と協議したい。

▽「幸せな町の運営」

議員 町職員の接遇対策は。

総務課長 町民の声に対して、対応事例に基づいて、改善指導している。

議員 地域課題の把握のためのタウンミーティングの開催の考えは。

まちづくり課長 町民の生の声の収集に効果があると思えば行いたい。

▽「学び楽しむ幸せ」

議員 佐賀大学から、学生の住居賃貸物件の補助支援のお願いがきているが、どのように考えるか。

町長 正式に話がいった。財政面含めお互いがwin・winの関係になれる支援をしていきたい。
議員 「NO」からではなく、とにかくやってみよう、どうしたらできるかを考えて町政運営に励んでほしい。



松永 俊和 議員

有田駅前広場(駐車場)の整備を

答 JRと町の管理地区なので協議をしている

町民生活の環境充実

▽JR有田駅周辺の整備

①路面の整備と車誘導線を

議員 駅前の広場(駐車場)の傷みが目立つ。また、車両の進入誘導白線が消えかけ、接触事故が起きそうになった。広場の整備と車誘導白線の整備を行ってほしい。

建設課長 駅前広場の舗装について、JRと町の管理区域に基づき、5月14日に協議を持った。

JR側は、管理区域135mの全面舗装となると白線込みで100万円近く必要。年度途中での整備はできない、来年度に予算確保ができるかはわからない。

町ではJRの管理区域でも舗装陥没の指摘があれば補修していると協議したが、JRとの協議は平行線であった。

議員 町で車誘導白線と駐車線の補修だけでも。

建設課長 JRの管理地区でも危険であれば町として検討したい。

②駅前の植栽の撤去

議員 駅前の4本のイチヨウの木は町の管理だが、毎年剪定がされていない。昨年暮れにイチヨウの落ち葉で滑りけがをされ通院、また手首を強打される事故などが相次いでいる。住民だけでなく、観光客が滑り、最悪打ちどころが悪いと脳挫傷に至ることもあると思う。管理責任問題にもなりかねない。管理ができないのであれば、イチヨウの撤去を行ってほしいが。

建設課長 イチヨウの木撤去については有田駅は観光の玄関口であり、景観などに配慮する必要がある。関係課の商工観光課とも慎重に協議して結論を出したい。

議員 先日、五区の役員会でイチヨウの落ち葉で話し合った中で「落ち葉で大変苦労する」「大変なのは秋口2、3カ月だ

けだろう」「自分たちは、当事者でないからわからない」「ゴミ袋を支給すればよいのでは」「グリーンの景観をなくすのはどうか」「町が落ち葉の時期になったら、毎日来て清掃すれば」など意見が出たが、結論には至らなかった。

もちろん、住民の全員が、撤去を望む声が上がるはずがないと思うが、町の管理が難しい、落葉で転倒事故が発生など考慮すると、花壇にして管理を住民に任せるほうが良いと思う。

▽町道整備について

議員 稗古場・白川地区の下水道工事後、原状回復工事が遅れている。特に稗古場地区は石畳風にしてあり、経年劣化で破損や凹凸がひどい。先日、つまりぎ怪我をされた方がいた。石敷に戻すか、全面舗装を早急に。

上下水道課長 稗古場地区から要望があり、全面

アスファルト舗装で行う。稗古場地区全域と白川地区の本線は今年度中、白川地区の支線は工事進捗と予算次第で早急に。 **議員** 稗古場橋周辺の路面が少雨でも水溜まりができ住民は困っている。原状回復工事を行うときに改善を。



▲稗古場橋周辺の水溜り

上下水道課長 道路自体の舗装工事は行う。水溜まりの排水の件は道路本体の問題である。建設課と協議をして行う。

▽南原・原宿線の進捗は

議員 町民の期待度も大きく、私もこの路線を早く進めてほしいと思う。昨年12月議会の折、予算次第だが町単独事業で早急に行うと答弁だった。

6月の補正で減額。初期の予定より遅延するみたいだが現状と進捗は。

建設課長 南原・原宿線事業はH29年～H33年までの予定であったが、今年度、国の社会資本整備総合交付金の予算配分がついていない状況で、改築系の予算配分が3%しかつかなかった。地権者には、個別に進捗状況の説明を行っている。

議員 変更や延期など、地権者は移転計画や生活設計などの住民生活に大きく係わる問題だ。財政面を考えると、県道として整備できないのか。

町長 役場内の調整や財政面など考慮しながら、県との調整や協議を行う。町単独ではできない。

地域産業の発展を促し雇用促進を

答 全ての業界の活性化を目指す



岳川 淳彦 議員

地域産業の振興

▽全産業において人手不足担い手不足

議員 町として、どのような対応があるか。

商工観光課長 有田町経済情勢協議会の中で情報交換を行っている。伊万里ハローワークからの雇用情勢によると、全国的な景気回復により、有効求人倍率が上昇、人手不足の原因となっている。高校生を中心とした若者の地元志向は高い。しかし、賃金や福利厚生を重視しているため町外・県外の、それらが手厚い企業へ就職する傾向にある。町としても窯業界を中心とした人手不足・後継者の育成が問題となっている。そこで、若者を中心に有田焼やものづくりに興味がある町外・県外の方々へPRを行っていく必要がある。

議員 県外からの就労者に対する住宅支援対策は

あるのか。

まちづくり課長 町内の

宅建業者に確認を取ったわけではないが、家賃は4〜6万円程度であると思われる。佐賀大学の学生が住居を求める際、佐賀市内と比べると有田町の家賃が高いという声が上がっている。そこで、取り組みの一つとして、まちづくり課の地域おこし協力隊がシェアハウスをオープンした。家賃は1万5000円で町内の学生が住んでいる。このように若者世代のニーズに応じたシェアハウスも住宅支援の一つとしている。また、他の空き家に関しても低価格で提供するには何らかの支援を検討する必要があると考えている。

議員 人手不足解消のため、女性や外国人の方の職場進出について情報はあるのか。

商工観光課長 人手不足の解消として女性のさまざまな職への進出が必要

であると考えている。また町内の企業では、外国人の研修生もいる。さらに有田や有田焼に興味を持って、移住して来られた外国人の方も増えている。これから、よりたくさん外国人の方に有田に住んでもらえるよう環境づくりが必要になってくると思う。

▽農林業について

議員 農林業の担い手不足や高齢化の問題と自己改革について町の考えは、

農林課長 約9割が兼業農家である。有田町では、コストの削減、組織での受け入れ、新規就農者や認定農業者、営農組合の組織化や法人化ということで自己改革を目指すための支援を行っている。

企業誘致

議員 南部工業団地の企業誘致が4年間足踏み状態であった説明を。

まちづくり課長 平成27年度からのオーダーマイド方式での取り組みであった。各企業の条件にあった造成を行うことで、開発のリスクをできるだけ抑えるという方式である。しかし、PRを行う際に、現地が造成されていないということ、企



▲戸矢地区産業廃棄物処分場

業が造成開発を行うにあたって時間がかかってしまったということがデメリットとなった。昨年、企業から接触があったが、それ以外ないということが現状である。

産業廃棄物処分場問題

議員 戸矢地区の産業廃棄物処分場において町としての考えは、

住民環境課長 産業廃棄物処分場の許可は、佐賀県が行うものであり、今回の処分場拡張計画は廃棄物処理・清掃に関わる法律に基づいて、審査が行われている。町としては県に対して、戸矢・大野地区住民の意見を聞きながら、景観への配慮、水処理施設の増設などの対策を行い、また事業者が地元と十分協議するよう要請している。



久保田 均 議員

新しい風とは

答 オール有田で6つの幸せを極める

儲かる農業とは

議員 農業は簡単には儲からない。今後、多様な観点でとらえていただきたい。TPP11が成立した。農業生産活動の環境はますます厳しくなってきた。農業を市場経済と同じにしたら、農業経営が悪化し、若い農業者は減り、高齢化と世代交代も相まって離農する農家が増大する。

町長は農業を取り巻く環境を、農業者の目で見つかり見極めて、上京した折にはトップセールスとしてそのような働きかけを関係官庁・組織・団体に必要だと、多様な観点の一つとして併せ持つたら、新しい風が吹いてくるのではないかと期待する。

また、畦畔や町道法面管理の軽減について、センチピートグラスの吹き付け作業には、オペレーター作業者が6名必要で、

技術の向上にも努めねばならない。町内各地で有効利用するために、町として対応してもらいたい。

町長 儲かる農業は大変難しいと認識している。有田町農家の9割が兼業で、専業農家や地域営農組織が儲けられる農業を目指す。作物を流通にのせ、儲ける農業につなげる果物を開発したい。

町道法面を管理する農家の負担も軽減する。トップセールスは、農産物に関しても関係官庁、団体、組織などにも当然行う。

また工業団地の整備と企業誘致について、ランニングコストの低減、次世代に負担を残さない健全な財政運営との整合性について、新しい風で次なる有田を目指す町長の所感

新しい風について

議員 町長は町議を12年、国会議員秘書2年、政治にかかわり、町民の声を6つの幸せプランにまとめられた。新しい風で次なる有田へ、オール有田で取り組み実現することを使命としている。3月

議会では100名の町民が携わって作成した、第2次有田町総合計画が承認され、今後10年間の有田町が目指す将来像と、5つの基本目標が定められた。公約の6つの幸せプランは、5つの基本目標の中に含まれている。特に世界に誇れるまち有田とは、町長の思いの中にどのように位置しているのか。

また工業団地の整備と企業誘致について、ランニングコストの低減、次世代に負担を残さない健全な財政運営との整合性について、新しい風で次なる有田を目指す町長の所感

また工業団地の整備と企業誘致について、ランニングコストの低減、次世代に負担を残さない健全な財政運営との整合性について、新しい風で次なる有田を目指す町長の所感

は。

町長 6つの幸せプランは、第2次有田町総合計画を念頭に置いている。世界に誇れる有田について、「ローカルを極めれば

グローバルが見える」という沈壽官先生の言葉を借りると、有田を極めれば世界は向こうから近づいてくると思う。

有田は400年祭の経験で、海外アーティストを受け入れるキャパシティが広まった。就任から今日まで、短期間に会った韓国、景德鎮、その他の国の人達から、有田町は日本の中でも、特に興味と好意を持たれていることを感じた。これを極めれば、誇れるまちになると思う。積極的に交流を深めたい。



▲未来へつなぐことができるか

お金をかけずに、総合計画に取り組み、メリハリをつけた行財政を行い、未来に負担を残さないようにする。

副町長の就任所感

議員 副町長の任務は。

副町長 町長を補佐し、町長の命を受けて政策・企画をつかさどり、その補助機関たる職員の担当する事務を、監督することと、町長の委任を受けた事案についての決定や処理を行う。町長不在の時は、町長が戻るまでに、速やかに町民の声を聴き、事態を把握し、町長に伝えるべく、準備を整えておく必要があると思う。また、トップは忙しく話す時間は限られている。トップに上げる前にしっかりと議論を詰めておくことが大事。町長の意思決定がスムーズにいくように努める。有田の発展に尽くしたい。

給食費の無償化の実現は

答 財源も含め現実的可能な形で進めたい



諸隈 洋介 議員

教育支援

▽給食費を無償化する場合の取り組み方は

議員 給食費無償化を導入している自治体は条例で対応していると思うが、今後、有田町も給食費を無償化する場合、どのような形で取り組むのか。

学校教育課長 各市町の独自条例による補助金という形で交付されていると認識している。有田町も独自条例による補助金という形で交付が予想される。

議員 町長は給食費の無償化賛成の立場だと明確に示されていたと認識しているが、時期、規模、財源も含めて精査も必要だがこれは進めるのか。

町長 給食費の軽減は財源も含めて現実的可能な形で検討を進めたい。

▽学童教育の充実は

議員 現在の放課後児童クラブの利用状況および



▲給食を配膳する子どもたち

待機児童の数は。

生涯学習課長 利用状況は官民合わせて369人が利用していて、待機児童数は6月1日現在24人いる。

議員 運営状況の確認や従事者および保護者の意見を聞いているのか。

生涯学習課長 運営状況の確認は放課後児童クラブが提出する日誌と、ときどき現場を巡回して確認はしている。

議員 一括で行政事務委託していると思う。放課

後児童クラブや給食の安全安心を担保できているのか。この事業者を選定した理由は。

総務課長 昨年9月にブレゼンテーション方式での提案内容と過去の実績で判断した。

議員 指導員や調理員の更なる質の向上には人件費を含めて正当な対価も必要である。働いている人の環境整備もするべきだと思うが町長の見解は。

内山地区活性化

議員 県の街路事業における電柱電線の埋設の区間は。

まちづくり課長 一期工事は泉山ロータリーから札の辻までの約600mで、計画区間としては岩谷川内の公民館付近までを予定している。



▲美しい内山地区の街並み

議員 地元住民の同意が取れているのか。

まちづくり課長 これから詳細設計をもとに住民に説明する。

地場産業の振興

▽400年事業の検証

議員 県の事業と町の事業を一括で検証し、情報を共有すべきだが。

町長 検証はぜひ必要と

考えるのでどういう形でやるか検討する。

議員 町と商工会議所などの関係団体の連携や情報の共有は。

まちづくり課長 事業によって連携はあるが一堂に会してはいない。

ふるさと納税と今後の取り組みは

議員 商工会議所を通じての事務委託については契約内容をきちんと把握しているか。

総務課長 概要は承知している。

議員 今後は3年くらいの期間で効果的で具体性のあるプランの提案を検証して契約すべきだが。

町長 税外収入での安定した収入が当分期待できるので、何が一番効果的か役場内で検討して進めていきたい。

議員 どちらにしても透明性の担保と情報公開を求む。



福島 日人士 議員

道の駅「有田」実現を

答 現在「道の駅構想」はない

高齢化社会対策

▽健康寿命対策

議員 日本人の高齢化率、

総人口に占める65歳以上人口は、平成29年度に27・7%に達している。世界一の長寿国だが「健康寿命」を見てみると、男性71歳、女性74歳。健康寿命を縮める原因は生活習慣病で、認知症の最大発症リスクの大きな要因の一つとなっている。有田町の状況は。



▲町の集団特定健診の状況

健康福祉課長 各種保健指導の部分では特定健診（町の集団・個別）、各種

ガン検診、脳ドック、骨粗しょう症検診などを実施し、その後、保健師、管理栄養士による特定保健指導を実施している。また健康づくり栄養教室、健康トレーニング教室（国保の実施もしている）。

▽高齢者の孤立予防

議員 社会的孤立や閉じこもり傾向が、生活機能低下や死亡リスクを高める要因である。背景には、

貧困、病気、失業や離婚など、社会的孤立を余儀なくされる状況が深刻な社会問題になっているが、有田町の状況及び対策は。健康福祉課長 民生委員、地域の老人クラブなどに声かけ見守り活動を実施。町内に3カ所ある在宅介護支援センターで個別による実態把握、相談対応などもしている。東京都ほど深刻ではないが、現在、町では高齢者と幼児とのコミュニティハウスを建設し、いきがいづくりと介護予防の場とする

計画。また将来的には併設する子育て支援センターでの、世代間の交流の実現ができるように推進したい。



▲高齢者のグランドゴルフ大会(健康づくり)

▽高齢者見守り活動

議員 高齢者見守り活動

での県内宅配業者との連携をどのように行っているか、現状と対策は。

健康福祉課長 有田町でも、第一生命保険、セブンスイレブン、コープさが生活協同組合と、高齢者

の見守りに関する協定を結んでいる。現在、通報などの実績はない。

道の駅「ありた」

議員 有田町農業活性化

特産品開発、6次産業化など、過去4年間進展がない。JA伊万里との連携など、新規就農者のスキルアップ、後継者育成のために、「道の駅」の実現への対策を。

農林課長 道の駅の設置者は地方自治体と道路管理者が連携し、国土交通省により登録された商業施設・休憩施設・地域振興施設・駐車場などが一体となった道路施設となっている。実現のためには場所の選定、事業費、販売商品の選定、収支計画、費用対効果などさまざまな関係機関との協議が必要である。現在、有田町での「道の駅構想」はない。

農業振興

▽多面的機能支払制度

議員 この制度は現在有

田地区で15地区が活動を行っている。この事業の活動内容は。

農林課長 この制度の目的は、農業の基盤となる農業環境の保全と自然環境機能を維持・増進することである。また、地域ぐるみによる共同活動に支援する事業である。協定書の実施要綱に基づき活動を行っている。協定期間は5年間、活動組織の事業対象農用地面積は203haとなっている。



▲特産品として道の駅での販売促進を

石場・白磁が丘の整備を

答 有効な取り組みを考える



古賀 四郎 議員

石場・白磁が丘の活用

議員 内山地区活性化案として、テレビドラマやCMへの売り込み、朝トラの誘致など以前は力を入れていたが、最近は運動が目立ためように感じる。LCCの格安航空の影響で、外国人の訪問が増えている現在、有田焼発祥の地として、有効策を考えてもらいたい。

商工観光課長 外国人の訪問は増えている。20世紀遺産選定の影響や、ホームページ等で発信している影響もある。

議員 石場組合との関連もあるが、清掃やトイレの管理、採石場の安全面の整備で入場可能にすることや、鳥居のない石場神社を、パワースポットとして価値観を宣伝すべきだ。

町長 現在も採石を行っており、安全を重視しながら、さまざまな取り組みを考えていきたい。



▲泉山採石場

老朽化建物と空き家

議員 町内7千戸の建物中1割弱が空き家という現状の中、老朽化崩壊建物が、生活の安全を脅かす存在になっているが、対策は。

総務課長 7千戸の内、約30棟程が崩壊建物となっているが、現状では所有者に戒告・指導・要請しかできない。

議員 県内のある町では補助金を出して解体を進めているが、本町の取り組みは。

泉山大谷線

総務課長 難しい問題であるが、所有者責任として対応してもらうしかない。

議員 空き家対策の今後はどうなる。

まちづくり課長 現状を把握して、有効利用できるものは、町づくりに活かす。

議員 前町長からの引き継ぎで、1年猶予の工事着工との答弁をいただきたいが、現政権でも変更ないのか確認を求める。

町長 就任して2カ月、全ての事業に優先順位を付け、見直しをしている最中である。時間的猶予をいただきたい。

企業誘致

議員 窯業界不況の中、企業誘致は必要である。南部工業団地と、中部小

予定地跡の2カ所の、企業誘致は可能かどうか。

まちづくり課長 2カ所同時の誘致は、財政負担の点からも不可能である。

議員 南部工業団地の方はオーダーメイドで水道使用とすれば、約40億円位の負担が生ずるが、中部小予定地跡は、取り付け道路と接続予定の南原原宿線が、交付金削減で延期になった。町としてはどう決断するか。

町長 優先順位の見直し中であり、県とも協議しながら慎重に進めていきたい。

議員 大きな企業誘致ばかりでなく10人規模の企業も数社誘致すれば、100人規模に匹敵するとの事案もあり、内山地区の空き家対策とも連携して推進をお願いする。

陶器市と窯業界

議員 陶器市の様代わりが新聞で紹介されていた。

買う陶器市から体験する場へと変わり、受け入れ側の柔軟な対応が求められているところ。

今後の対応として非日常的なお祭りや、伝建物の町並みや文化財など、生の有田を堪能していただき、買い物も交え訪問客の満足を得たい。そのため駐車場問題、トイレなどを、町内に少なくとも3カ所以上の増設、イベントの誘致など必要では。

商工観光課長 会議所、観光協会等と協議しながら時代にマッチした陶器市を目指したい。

上下水道課長 内山地区は公共下水道整備中であり、トイレ問題も以前より接続しやすくなる。関係各課と協議し検討してみよう。

議員 今後の観光有田を考える時に避けて通れない問題であり前向きに検討されたい。



藤 誠一郎 議員

「戸矢地区住民視点」で有田を守るため 「環境基本条例」の 制定を提案する

答 危機管理を徹底し、県とも連携し対応していく

戸矢地区の産廃処分場

の、平成10年から現在までの行政指導や、事案を確認したい。

議員 約1年前に、連絡

や相談を受け、区長や近隣住民から、「悪臭・水質汚染」について、聞き取りを行い何度も現地に出た。戸矢は土砂災害指定区域でもあり、比較的世帯数が多い区域である。絶対に環境事故・自然破壊があつてはならない。「安定型最終処分場」とは、どういう定義なのか。

住民環境課長 規定としては、廃プラ・ゴム・ガラスなど、雨水に晒されてもほとんど変化しない、国の環境省が指定した安定型品目となっている。有害物質や、有機物が付着していない、産業廃棄物の埋め立てが認められている処分場のことである。

議員 自然環境に影響を与えない、「安定型最終処分場」ということであるが、佐賀県知事認可後

住民環境課長 平成14年

「硫化水素ガス発生」に関して、改善命令が出された。平成20年「施設の変更許可申請」に係る指摘事項、および、県総点検の結果、文書による指導。平成28年「正鶴川」泡発生・川魚死亡の事象について、口頭と文書指導があつたことを認識している。

災が発生している。この件に関し、県や町は認識していなかったのか。

議員 火災調査報告書を取り寄せて確認したが、このような原因不明の火災事故を、処分場事業者が報告せず、これまでの度重なる行政指導・改善命令をしてきたことを踏まえると、非常に重要な問題だ。「環境事件」ともいえるのではないか。

行政・事業者・地元住民との、問題意識のズレを感じ、町も積極的に関わって欲しい。

他県の例だが、平成19年福岡県筑紫野市の「安定型最終処分場」において、「硫化水素ガス中毒事故」により従業員3人が死亡した。その後、近隣ダム（水道水の水源）への影響も懸念され操業停止になった。未だ処理できない埋設物が残っており解決していない状況である。

町長 非常に遺憾に思う。起きている重大事故である。戸矢地区の産業廃棄物処理場については、今後は町も危機管理体制を徹底したい。

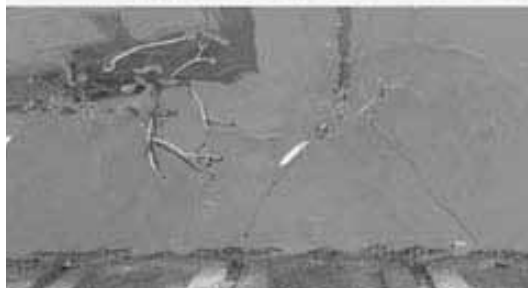
議員 町は今後、行政指導・改善命令など、周辺住民、また主河川である「有田川」や下流域への影響についてどう考えるのか。

住民環境課長 平成28年

「正鶴川」の事案時に、町で水質調査を行い県に報告している。また下流域において農作物への影響や風評被害も想定される。何かしらの対策が必要だと考えている。

議員 今はまだ健康被害はないと思う、ないと信じたい。しかし、戸矢地区の住民視点での安心、安全を考慮した行政対応が大事。未来の子どもたちのために、豊かな自然環境を残していくには、まず都市景観条例とは別の「環境基本条例」を制定すべき。曖昧模糊な規制権限を適時・適切に行使すべきでは。

町長 戸矢地区はもちろん全町民の暮らしを守って行くのが私の仕事である。本件について町は県と連携し、県を通じて産業廃棄物業者にしっかり対応していく。条例制定にも前向きに考えていきたい。



▲正鶴川

有小のシートマイヤー製ピアノの修理、利活用を

答 クラウドファンディング等で、修理と活用方法も考えたい



梶原 貞則 議員

「有田の文化的景観20世紀遺産」の保存を

議員 昨年12月8日「日本の20世紀遺産20選」の中に『有田の文化的景観／町並、産業・文化施設群―20世紀に継続発展した伝統産業景観の代表―内山地区、黒牟田応法地区』が選定された。

これは、内山地区が平成3年に「有田町有田内山伝統的建造物群保存地区【製磁町】」として選定され、今までに伝統的建造物108軒もの修復を行ってきた。また、黒牟田地区の町並み整備や、応法の獅子谷窯の整備等行ってきたおかげである。今後、伝統的建造物は修復保存がされていくが、内山地区以外の窯元群や、特に煙突の修理保存は大事である。

ぜひ、町独自の補助制度で修復保存をしていただき後世に残していただきたい。

町長 文化的価値がある

と認められれば国の補助も得られると思う。国会の先生方にもお願いしていきたい。



▲後世に残したい20世紀遺産(煙突)

佐賀セラミックロード車いすマラソン大会の再開を

議員 平成2年に始まり、平成26年の第25回大会まで、地元で開催されてきた、車いすマラソン大会

多いときは選手が1500人、ボランティアが6000人、観戦者20000人が集った。また、開会式

など、ふれあい広場の大山小学校では、大会の日曜日を全校登校日として、学校あげての応援。西有田中学校の一年生全員が前日の準備、当日のボランティア、と活躍され、貴重な経験をされた。実行委員会のメンバーの不足、また高齢化により、惜しまれながらも辞めざるを得なかった。日南市の車いすマラソン大会は、社会福祉協議会が主催。大分国際車いすマラソン大会は、大分県が主催して



▲車いすマラソン大会

いる。当町でも、町の主催での再開をお願いしたい。

町長 ノーマライゼーションの啓蒙の観点から、大変良い大会だと思う。中止になった経緯を調べ、主になる団体を考え、検討していきたい。

シートマイヤー製ピアノの修理、利活用を

議員 有田小学校にドイツのシートマイヤー社製のピアノがある。大正15年、当時の町の人たちが「どうせ音楽教育に必要なピアノを買うのであれば、一流の物を買おう」という思いで、門司の三菱を通して直接輸入された。シートマイヤー製のピアノは1851年のロンドン大博覧会で金メダルを、1900年パリ大博覧会でグランプリを獲得しているという超一流のピアノということ



▲有小のシートマイヤー製ピアノ

である。こういう先人の思いの詰まったピアノを、ぜひ修理し、子どもたちのため、また町民のために活用していただきたい。

町長 大変貴重な物なので、クラウドファンディング等も考慮し、修理と活用方法も考えていきたい。

その他に

- ・明治有田偉人博覧会への進捗状況
- ・「唐船城築城800年記念事業」の進捗状況
- ・町内の空家の現状、そして対策



今泉 藤一郎 議員

交付税減額で事業の展開に影響がないか

答 基金を取り崩して予算編成をしている状態

大丈夫か
増える社会保障費用

議員 一般会計に占める経常経費の割合と評価・検証。それと今後の予測は。

財政課長 決算では経常経費が

平成26年度85・4%、
平成27年度87・3%、
平成28年度89・1%、
と徐々に財政構造の弾力性を失いつつある。

平成29年度は概算値で、
約90・8%となる。

平成32年度までは厳しく、
その後も大型事業の財源
としている合併特例債に
よる償還額の増加が予想
され、財政に余裕がない。

議員 不況が続けば社会保障費用等が占める割合が増えるが、義務的経費や扶助費に切り込んで支出の抑制ができるか。

財政課長 社会保障制度で児童、高齢者、障害者、生活困窮者への扶助費が大幅に今後増えていくが、国の施策もあるので

切り込んで削減するのは難しいと思う。

議員 有田は財政調整基金、20億9600万円を保有しているが、国も地方自治体も厳しい財政状況にある。人口減少も相まって今後も交付税が減額され、町民に対する各種の負担やサービス、色んな事業の展開に、影響が出て来ないか心配だ。

会計管理者 歳入歳出の予算を同額にするため、財政調整基金から約2億7000万円を取り崩して、予算編成をしている状態だ。今後は積み戻しができない可能性がある。大きなプロジェクト等が言われているが、議会と慎重な審議が必要と思う。

議員 一般会計から毎年予算上、特別会計や一部事務組合、広域の組合に、17億円も拠出しているがどう思うか。

町長 厳しい財政の中、組合には支払っていく必要がある。介護等は増える傾向にあり、精査して

粛々と企業誘致等、次の段階に進めるようにする。

議員 老朽化した有田消防署の改築の必要性は、誰もが承知している。以前、議会に設計金額等の説明があつたが、その後何らかの変更はないか。

総務課長 平成20年末に5億3600万円規模で、説明資料の提出をしていたが、現在は、概算で6億3000万円となっているので、節減に努める。

有田町消防署の改築に変更はないか

議員 多少にかかわらず金額が変更になれば、議会軽視にならないように速やかな説明を。

議員 企業の誘致と財政の危険

議員 町の財政規模は小さく、もし立地企業の決定以前に造成すれば、余裕を持って資金調達ができるのか。

財政課長 造成は基本的に特別会計で行うので、短期的には問題ない。ただし、昨今の企業誘致は厳しい状況にあり、売れなければ一般会計からの繰り出しで、処理する事になる。

議員 バブル崩壊後の景気低迷で、全国的に工業団地の売れ残りが出てきており、企業誘致は地域振興策としての役割を終えたとの厳しい見方もある。大きなリスクを伴うので財源の事を充分に熟慮する事が肝要である。

議員 バブル崩壊後の景気低迷で、全国的に工業団地の売れ残りが出てきており、企業誘致は地域振興策としての役割を終えたとの厳しい見方もある。大きなリスクを伴うので財源の事を充分に熟慮する事が肝要である。



▲買収した南部工業団地(戸矢地区)。財源の確保は大丈夫か。 面積37.2ha。

子どもの通学路安全確保と、 高齢者の交通安全対策を！

答 安心・安全の更なる取り組みをする



蒲原 多三男 議員

高齢者の交通安全対策を

は32・8%、75歳以上は17・2%である。

議員 佐賀県は、交通事故の発生状況が全国ワースト一位だ。人口10万人当たりの人身交通事故数、交通事故死者数、交通事故故負傷者数の3部門ともである。平成28年は交通事故死者数のみでみると、全国で3904人。これは昭和24年以来67年ぶりに4000人を下回ったとのこと。交通事故の罰則強化、道路整備が進み、車の性能アップや運転マナーの向上もあったのでは。全体の交通事故は減少しているが、その中で高齢者の占める死者数の割合が54・8%と過去最高である。町内の交通事故発生状況は。

議員 佐賀県は、交通事故の発生状況が全国ワースト一位だ。人口10万人当たりの人身交通事故数、交通事故死者数、交通事故故負傷者数の3部門ともである。平成28年は交通事故死者数のみでみると、全国で3904人。これは昭和24年以来67年ぶりに4000人を下回ったとのこと。交通事故の罰則強化、道路整備が進み、車の性能アップや運転マナーの向上もあったのでは。全体の交通事故は減少しているが、その中で高齢者の占める死者数の割合が54・8%と過去最高である。町内の交通事故発生状況は。

議員 町の高齢化率は。住民環境課長 65歳以上

は32・8%、75歳以上は17・2%である。

町内の運転免許証の保有状況は

議員 町内の運転免許証の保有者は。

総務課長 平成28年は1万3792人（65歳以上3890人）、平成29年は1万3744人（65歳以上4000人）である。

議員 全国でみると、保有者は8221万人で、75歳以上は平成17年で236万人だが、今年は532万人と2・2倍強の増加。2040年の高齢者人口がピークの年へ向かい増加途上では。有田の運転免許証の自主返納はどうか。

議員 道路交通法の改正により、昨年3月からは75歳以上の方は免許更新時に「認知機能検査」が義務づけられた。医師の診断を受け、免許取り消し・停止の人が1892人。更に1515人は処分待ちである。更新時の検査で5万7000人が指摘を受け、病院での診断を受けるべきとされた。高齢者を対象にした安全運転教室・講習等は開催されているか。

議員 今までのない社会環境の変化の中で、町民の暮らしの安心・安全の観点からも、安全意識の向上へ、新たな取り組みが必定だと思うが。

町長 高齢者・子どもの安全対策はしっかりとやらねばならないと思う。

交通弱者への対策を

議員 今後、想定される免許証の自主返納も含め、車のない方々への支援を

どのように進めるのかが大事だ。現在は町として何をやっているか。

まちづくり課長 デマンドタクシーの利用者は事前登録をして、前もって電話予約すれば自宅まで迎え、帰日も自宅まで乗り合いタクシーとして利用できる。大山地区と曲川地区で実施している。今後は他地区も協議する。また、免許証自主返納者は、コミュニティバスの6割引きパス券を年齢制限なしで受けられる。

議員 子どもの防犯と、通学路の安全を期す意味から、子どもの目線で歩いて一度総点検を実施したらどうか。

子どもの通学路の安全確保を

議員 子どもが、犯罪に巻き込まれない取り組みを。

町長 今、町内各団体にも呼びかけ、安心・安全のために取り組む。



▲通学路

議会傍聴者アンケートを紹介

6月定例会の会期中、有田町老人クラブ連合会有田支部の女性部より、議会の傍聴に来ていただきました。

傍聴者35人を対象に独自でアンケート調査をされ、その結果を提供いただきましたので一部紹介いたします。



1、議場についての印象はどうでしたか。

□広さは	ちょうど良い……………	18人	せまい……………	17人
□明るさは	ちょうど良い……………	31人	もう少し明るく……………	4人
□音声は	聞き取りやすかった…	25人	もう少し聞きやすく…	6人

2、議員の質問の内容やようすなどはどうでしたか。

□取り上げた内容は	身近なものだった…	28人	よくわからなかった……	2人
□話し方は	よくわかった……………	25人	もう少しわかりやすく…	7人

3、議員さんの質問に答える人たちはどうでしたか。

□内容は	質問によく答えていた…	30人		
□態度は	真剣だった……………	27人	もう少し誠実に……………	2人

4、議会の感想と要望（一部抜粋）

- ・素晴らしい有田のためにがんばってほしい。
- ・トイレに関してなど、もう少し町民の意見を聞いてほしい。
- ・質問に対する答えで曖昧な点があると感じた。
- ・議員の真剣な姿勢を感じた。この気持ちを持ち続けてほしい。
- ・カタカナ用語もわかりやすく説明してもらいたい。
- ・有田町の抱える多くの問題が傍聴の短時間でもよくわかった。

議会傍聴について

本会議を傍聴することができます。
ご希望の方は議会事務局へお問い合わせ下さい。
☎46-2117

■新有田町議会議員のメンバー（クールビズで撮影）



■議長交際費支出状況（平成30年4月～6月）

項目	件数	支出額(円)	備 考
会費	4	28,000	行政懇談会ほか3件
雑費	3	12,754	西有田商工振興会総会ほか2件
合計	7	40,754	

議会広報発行特別委員
委員長 福島日人士
副委員長 古賀四郎
委員 諸隈洋介
委員 岳川淳彦
委員 樋渡正則
委員 立部

平成30年度がスタートした。議員として町政に携わるのが2期目に入り、自分たちが未来の子どもたちに何を残してやれるか、そして有田町として、農業も窯業も、今、有田から一つでも特産品を開発発信し、有田の子どもたちが地元に残り、生き甲斐の持てるような時代を残していけたらと思う。オール有田で、徹底的に現場で伴走支援を展開し、食と器と農ビジネスを実現する。

すべての地域住民の皆さんに、確実な価値を提供したい。共に、より良い明日を創造できたらと考える。
(日人士)

